

よく“愚者は経験から学び、智者は歴史から学ぶ”と言われます。ドイツ鉄血宰相ビスマルクの言葉です。愚者は自分の経験からしか学べないが、智者は多くの先人が残した教訓から学ぶという意味です。我々はもっと智者になって過去の教訓から学ばなければと思います。それが永遠に生き続ける人としての役目なのでしょう。先日我々は先人の歴史を伝えておられる林子平さんにお話を感動して聞くことができました。賢者だけが先人だけでなく、実際はその時代に生きたすべての人が先人なのでしょう。



高槻市マスコットキャラクター『はにたん』

### 【**荘川桜特集**】■4月25日(月)飛騨荘川桜を訪ねる。『古きものは古きが故に尊い』

桜前線が列島を北上し、やがて北海道上陸の知らせが届く4月25日(月)、春の訪れが遅い合掌造りで名高い飛騨白川郷近く「荘川」の樹齢400年を越す二本の老桜もまるで私達一行20名の到着を待ちかねたかの様に満開で出迎えてくれました。

春の陽気に一斉に花咲く清楚な雅、そして散りゆく際の潔良さに我が人生と重ね合わせ格別の想いを抱く私達日本人、中でも「荘川桜」の物語は我が郷土高槻名誉市民、高碓達之助翁の残した決して売名や偽善で語り得ない、まさにノンフィクションの感動の物語です。

当日、私達一行はそんな感動を確かなものにする為「荘川」の老桜を間近に、そして「御母衣ダム」建設の犠牲となり湖底に沈んだ旧荘川村の元中学教諭、しかもご自身の叔母が「ダム建設絶対反対死守同盟」の急先鋒でもあった何よりの生き証人、かつ語り部「林子平氏」89歳が同行され、その豊饒とした御姿で「死守同盟」解散に至る経緯、老桜の

移植再生への思い、高碓達之助翁の大きな器の人となりについて熱く語っていただいた事が特に印象的で深い感銘を受けました。(宮本氏筆)



#### ■北村先生講演

##### ～笹部新太郎と桜～

当日北村先生(前茨木高校教員)の桜博士「笹部新太郎」に関するお話がありました。

北村さんは荘川桜だけではなく笹部桜に興味をもたれ、我々にもお話願えました。笹部桜の花は最初は白いが、次第にピンクが濃くなるそうです。また、笹部さんは生涯職につかず、日々桜の研究と指導に携われた方です。また、水上勉の小説「桜守」は笹部さんをモデルにしています。

当日は笹部さんに指導され、荘川桜を12年間植え続けた佐藤良三さんの感動の映像も、鑑賞させていただきました。

### ■4月3日(月)テレビ朝日の“トリハダ…”で紹介された“荘川桜”

ダム湖に沈む樹齢400年にもなる老桜の、不可能と言われた高台への移植再生を、ガン闘病中にもかかわらず実現させた、植木職人の丹羽正光さんや、若山芳枝さん(御母衣ダム絶対反対期成同盟死守会書記長)とともに、当時のダム建設の責任者(電源開発初代総裁)でもあり、かつ老桜の移植発案者でもあった高碓達之助氏(高槻市名誉市民)の功績を高く評価し、荘川桜の感動的な由来を紹介して頂きました。

高碓氏の反対同盟の村人を共鳴させた彼の未来への情熱の深さと、後に村人との誠意ある示談交渉“幸せの覚書”に示された真摯な態度、そして何よりも交渉成立後の老桜移植プランの発案と実行等実に好意的に紹介されていて、改めて郷土の偉人に誇りを持ちました。(宮本氏記)

#### ■4月の定例勉強会

- 4/11: (高碓達之助翁)高槻文化会館・荘川桜の紙芝居作成実施の勉強会行う。
- 4/25: (高碓達之助翁)飛騨高山荘川桜見学会

5月勉強会: 5/9(学習センター)、5/23(文化会館)

\*裏面に4/25飛騨で行われた荘川桜伝道師の林子平さんの講演内容があります。